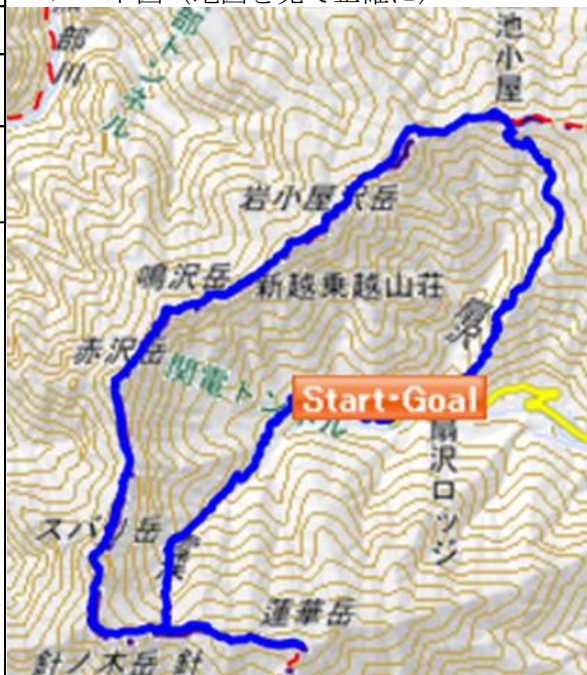


9月度 例会 山行報告書		報告者	天野 広	参加 メンバー	CL:天野 広
		報告日	09/21		
山 域	北アルプス	山行日	17年 09月 12日 (火) ~		
山 名	針ノ木~鳴沢岳周回		17年 09月 15日 (金)		

山行目的	稜線からの見晴しを楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
総会参加数	
山行: 1	
リーダー	
原紙:	
会事務局	



09/12 雨のち曇り 13:00 自宅発 16:11 信濃大町着(JR)	10:25 鳴沢岳(18) 11:15 新越山荘(10) 12:08 岩小屋沢岳(7) 13:25 種池山荘着 歩行時間 7h15m
09/13 曇りのち晴れ 06:15 信濃大町発(バス) 07:15 扇沢発 08:30 大沢小屋(10) 09:40 1970m 一本(7) 10:30 2215m 一本(5) 11:15 針ノ木峠着 小屋の手続き 12:00 針ノ木小屋発 12:50 蓮華岳(20) 14:20 針ノ木小屋着 歩行時間 4h+2h20m	09/15 曇りのち晴れ 5:50 種池山荘発 6:55 1880m 一本(5) 7:10 ケルン通過 7:30 1616m 一本(5) 8:15 登山口着 8:30 扇沢着 歩行時間 2h40m 8:55 扇沢発(バス) 9:30 七倉荘で入浴 10:33 信濃大町発(JR) 15:00 自宅着
09/14 晴れ 6:10 針ノ木小屋発 6:57 針ノ木岳(7) 7:50 スバリ岳(7) 8:53 2500m 一本(8) 9:35 赤沢岳(10)	

〈山行報告〉扇沢に向かうバスは平日のため3名のみ乗車だったが、大町温泉から4名が乗ってきた。自分以外観光の様だ。登山届を提出し登山口に向かうも、林道から見つけづらく少し迷った。大沢小屋を過ぎるとガスが取れ、青空広がり心が躍りだす。登り一辺倒の道を黙々と歩き、小屋情報通りの10m程しかない雪渓を渡る。「のど」の岩場は結構険しく「計画を1日ずらして良かった！雨だったら大変」と思った。見上げると明日歩く山々が綺麗に見えて嬉しくなった。小屋に荷物を置き、蓮華岳へと向かう。素晴らしい景色だ！遠くに槍穂、水晶、赤牛、烏帽子、立山、劔、白馬、五竜、鹿島槍、燕、常念など北アルプスの山がほとんどクッキリ見えている。近くの北葛、七倉、船窪に続く稜線も迫力があり、針ノ木峠で会話をした人(親不知~上高地縦走中)は「今どの辺りかな」とふと思う。小屋に戻りご褒美の生ビールをチビチビやった。夕食時には同草の方から熊遭遇情報を聞き少しビビる。(デッカイ熊だったそうです。岩小屋沢岳の北方10分程の地点)小屋の朝食を頂き、メインテーマの針ノ木~岩小屋沢岳縦走に出発する。針ノ木山頂で写真を撮ったが、ガスが多く縦走路・黒部湖も望めない。針ノ木からの下りはガレていたため慎重に下る。スバリ岳とのコルまで下ると、ガスがどれ昨日同様な青空になった。スバリ岳の頂上からは種池山荘まで「360°」のパノラマとなり、立ち止まれば、劔岳・黒部湖・行く路・来た路など写真を撮りまくる。赤沢岳の手前で5羽の雷鳥親子に遭遇。

この季節では子供も大きくなっていて親鳥と変わらない大きさだ。鳴沢岳を下り新越山荘に近づくとお花畑があり、疲れた気持ちを和らげてくれる。ここから熊に遭遇する可能性があり、辺りをキョロキョロ伺いながら進むも、何事もなく種池山荘に到着した。缶ビール2本をご褒美とした。(情報)前泊で大町駅近くの旅館に泊まった。下山時まで荷物を預かってくれ、また風呂にも入れた。また使いたいと思った。

〈リーダー所見〉2年前7月例会で針ノ木岳にピストンしたとき、今回の集周回コースに行きたいと思った。達成できて良かった。宿泊の登山でソロは初めてだったので不安があったが、入念な計画と天候に恵まれた事で無事下山でき良かった。当初9/11~9/14の予定だったが、9/12が大雨の予報で1日後ろにずらし、登山中は絶好の好天に恵まれ大正解だった。



確認 (リーダー)	天
17/09/21	野
作成 (報告者)	天
17/09/21	野